

<試験官に関して>

試験官は以下 2 名でした。

外国人試験管 (NS) :

40 才後半か 50 才前半、男性

通訳ガイドもしくは人物考査担当試験官 (TG or GO) :

60 才、男性

<面接試験全体の流れ>

集合時間 : 12:00~12:25	
11:55 頃	会場に到着
12:00 頃	受付開始、受験票、通知表、本人確認の身分証を提示後、受験番号を渡される。 飲み物のみ OK。食べ物厳禁。
12:30~	待合室 (座席指定) で、ガイダンスがあった。
13:00 頃	順次呼ばれた。当方は 13:10 過ぎに、直前控え室に移動
13:25 頃	受験番号が呼ばれ、試験会場前の椅子に移動
13:30	廊下の係員から入室指示があり、入室
13:37~40	部屋を出て、廊下の椅子に待機。すでに 4 名が座っていた (私が一番最後だったか??)。全員揃ったところで、控え室に移動
14:10	全員に試験終了指示が出て、施設から退出。
14:30 頃	飲食ができる施設で、持参した弁当を食べて、会場を出た。

<面接試験の質問>

TG	名前と住んでいる場所の質問 (英語)
NS	日本には多くの山があるがなぜか?
NS	日本にはタクシーやホテルでチップを払う習慣がないが、なぜか?
NS	過去 50 年で、日本はどのように変遷したか?
TG	仮定の話ですが、もしガイドになった場合に、どんな点に注意しますか? (日本語)

<返答について、反省点等>

外人は疲れていたのか、終始つまんなように聞いていました。

自分としては、一番失敗したのが、最初の質問で、意味を聞き返せばよかったのですが、日本は70%山にかこまれている。周りが海で、また火山も多いと返答しました。考えてみれば、プレートの上にあるので、山が多いとそのため地震がおきやすいといった答えをすべきだったと反省しています。かなりピントが外れていたと思います。

二番目は、日本の習慣とはなし、あとは料金にチップ代がはいっているとしました。

三番目は、私は52歳だから、自分の生まれた前後の話をするといいい、高度成長と失われた10年の話をして、今は解雇と転職が当たり前になり、今の日本の社会情勢は、海外の状況に似ていると話しました。

四番目には、海外に行ったとき、海外の友人がもてなしてくれて大変よい思い出ができたので、日本に海外からお客様が来た時には、おもてなしのころを大事にしたいとはなしました。その結果、外人が本国に帰国して、日本の良さを話して、もっと多くの観光客が来るようになればよいと話しました。